

学校教育目標

自ら学び心豊かで健康な生徒の育成

英 知

友 愛

健 康

めざす生徒像

○夢を持ち、
自ら学びに向かう生徒

○しなやかな心を持ち、
自ら考えて行動する生徒

○向上心を持ち、
自ら心身を鍛える生徒

めざす学校像

○学び方を深め、
確かな学びのある学校

○認め・励まし・高め合い、
友情を深める学校

○進んで心身を鍛え、
明るさと活力のある学校

重点目標【具体的な取組】

学びに向かう人づくりの推進

「わかる・できる」

◎生徒が、わかる・できるを実感する授業改善を重ね、生徒の学びを支援する。

1. 学びの意欲を高める授業づくり

- ・アウトプットを重視した授業展開
- ・ICTの効果的な活用
- ・生徒が中心となる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実

2. 朝・帰り・放課後の活用

- ・基礎学力の定着を目指した朝・帰りの活動の工夫
- ・放課後学習会、まなび支援教室の実施

3. 家庭学習の推奨

- ・授業と連動した家庭学習の工夫
- ・AIドリルを活用した個別最適な学びの推進

志教育の推進

「かかわる・もとめる・はたす」

◎人とかかわる、よりよい生き方をもとめる、集団（社会）の中で役割をはたすという行動を仕掛ける。

1. 伴走型の働き掛け

- ・生徒の出番を創り、役割を与え、具体的に承認するポジティブサイクルの確立
- ・学級の日、チームリーダー制の導入

2. 生徒主体でつくる活動

- ・生徒会が主体となる縦割り活動の設定
- ・地域清掃活動の定期的な実施

3. 地域との絆づくり

- ・「ふるさと岩出山を知る」を中心とした諸活動
- ・「政宗公まつり」や「ことばのギフトカード」等、地域活動での貢献
- ・「岩出山サポーター」の活用

命を守る教育の推進

「自助・共助」

◎自ら守り活かす力（自助）、互いに支え気付き力（共助）を育む。

1. 命や健康を大切に教育

- ・実効性のある避難訓練の実施
- ・被災地学習、救急救命講習の実施
- ・体力向上プロジェクトの実施

2. 安心できる居場所づくり

- ・別室登校教室「N-room」の設置
- ・SC等による支援体制の充実
- ・各種アンケート、i-checkの活用

3. 家庭・地域との情報共有

- ・緊急時を想定した「顔の見える」引渡訓練の実施
- ・ICTツールを活用したタイムリーな情報発信による心理的安全性の構築

1. 教師
質の追求

2. 学校
場の創造

3. 家庭・地域
結の深化

誰かの役に立っている、貢献している等...自己有用感の獲得

成果指標

生「授業に前向きに取り組んでいる、授業が分かる」80%以上
保「学校は分かる授業づくりに努めている」80%以上
教「生徒は家庭学習に取り組んでいる」80%以上

生「活動等で人の役に立っている」80%以上
保「家庭で与えられた役割に取り組んでいる」80%以上
教「よりよい人間関係づくりが形成されている」80%以上

生「安心して学校生活を送っている」80%以上
保「お子さんは安心して学校生活を送っている」80%以上
教「生徒は安全に気を配って生活している」80%以上

生「学校生活に満足している」80%以上 / 保「意欲的に学校に通っている」80%以上 / 教「幸せに働ける職場づくりが実現されている」80%以上

ウェルビーイングの推進

めざす教師像

生徒指導4つの視点

自己存在感の感受 共感的人間関係の育成
自己決定の場の提供 安全・安心な風土の醸成

- 生徒指導4つの視点に基づき、教育活動の充実を図る教師
- 「岩中愛」を持ち、家庭や地域とともに生徒を育てる教師
- 公私での研鑽に励み、自分の持ち味や強みで貢献する教師

1. 業務改善

- ・学校教育目標を基軸とした教育活動の精選と重点化
- ・ICT活用によるスマートな校務スタイルづくり

2. アップデートの機会の創出

- ・オンデマンド等を活用した柔軟な学びの提供
- ・知識や経験、ノウハウを分かち合う風土づくり

3. 協働的で働きがいのある組織

- ・校務分掌のチーム制導入
- ・「ピアサポート」と「ありがとう」が循環する文化づくり

学校経営方針

- 生徒一人ひとりを大切に育む教育環境づくり
- 家庭や地域の信頼を得る愛される学校づくり
- 教員の指導力向上と幸せに働ける職場づくり

『まるごとめんこがる』
『岩 中 愛』
『チ ャ ム 岩 中』